附　則

この省令は、令和四年八月一日から施行する。

備考　表中の［　］の記載及び対象規定の二重傍線を付した標記部分を除く全体に付した傍線は注記である。

改正後

別表（第一条関係）

一　大使館

区分	号別月額	［略］	8号	9号	10号	11号	12号	13号	14号	［略］	16号	17号	［略］	23号	24号	25号	［略］
			円	円	円	円	円	円	円		円	円		276,700	254,700	232,700	
			606,700	584,700	562,700	540,700	518,700	496,700	474,700		430,700	408,700					
国地の別	アジア											パキスタン バングラデシュ		カンボジア シンガポール	スリランカ タイ 大韓民国 フィリピン ブルネイ	インドネシア ベトナム	
	大洋州										パプアニューギニア			パラオ	ニュージーランド フィジー	オーストラリア	
	北米															カナダ	
	中南米					ベネズエラ			ハイチ			ボリビア		コスタリカ ジャマイカ パラグアイ メキシコ	アルゼンチン ウルグアイ チリ パナマ ブラジル		
	欧州				トルクメニスタン									アルバニア アルメニア ウクライナ ウズベキスタン 英国 オーストリア ジョージア スウェーデン デンマーク フィンランド モルドバ ラトビア ロシア	アゼルバイジャン オランダ チェコ ドイツ フランス ベルギー リトアニア ルクセンブルク	アイルランド イタリア エストニア 北マケドニア スペイン スロバキア スロベニア セルビア バチカン ハンガリー ボスニア・ヘルツェゴビナ ポルトガル ルーマニア	
	中東				イエメン				アフガニスタン イラク		サウジアラビア			アラブ首長国連邦 オマーン カタール バーレーン		トルコ	
	アフリカ		南スーダン				コンゴ民主共和国	ギニア スーダン ナイジェリア	ブルキナファソ マリ モーリタニア リビア		エチオピア セネガル ベナン	ガーナ ジンバブエ マダガスカル マラウイ モザンビーク		南アフリカ共和国	チュニジア	モロッコ	

※　在外公館名称位置給与法第十条により、在勤基本手当の月額が基準額の100分の75から100分の125の範囲内で政令で定められる額であるところ、研修員手当についても100分の75から100分の125の範囲内の変動を勘案した号の設定が必要となる。

改正前

別表（第一条関係）

一　大使館

区分	号別月額	［同上］	8号	9号	10号	11号	12号	13号	14号	［同上］	16号	17号	［同上］	23号	24号	25号	［同上］
			円	円	円	円	円	円	円		円	円		276,700	254,700	232,700	
			606,700	584,700	562,700	540,700	518,700	496,700	474,700		430,700	408,700					
国地の別	アジア											パキスタン バングラデシュ		カンボジア シンガポール スリランカ	タイ 大韓民国 フィリピン ブルネイ	インドネシア ベトナム	
	大洋州										パプアニューギニア			パラオ	ニュージーランド フィジー	オーストラリア	
	北米															カナダ	
	中南米			ベネズエラ					ハイチ			ボリビア		コスタリカ ジャマイカ パラグアイ メキシコ	アルゼンチン ウルグアイ チリ パナマ ブラジル		
	欧州				トルクメニスタン									アルバニア アルメニア ウクライナ ウズベキスタン 英国 オーストリア ジョージア スウェーデン デンマーク フィンランド モルドバ ラトビア ロシア	アゼルバイジャン オランダ チェコ ドイツ フランス ベルギー リトアニア ルクセンブルク	アイルランド イタリア エストニア 北マケドニア スペイン スロバキア スロベニア セルビア バチカン ハンガリー ボスニア・ヘルツェゴビナ ポルトガル ルーマニア	
	中東				イエメン				アフガニスタン イラク		サウジアラビア			アラブ首長国連邦 オマーン カタール バーレーン		トルコ	
	アフリカ		南スーダン				コンゴ民主共和国	ギニア スーダン ナイジェリア リビア	ブルキナファソ マリ モーリタニア		エチオピア ジンバブエ セネガル ベナン	ガーナ マダガスカル マラウイ モザンビーク		南アフリカ共和国	チュニジア	モロッコ	

※　在外公館名称位置給与法第十条により、在勤基本手当の月額が基準額の100分の75から100分の125の範囲内で政令で定められる額であるところ、研修員手当についても100分の75から100分の125の範囲内の変動を勘案した号の設定が必要となる。